

28年7月分

製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年7月1日～ 28年7月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
入荷動向	国産材製材品	△ 6.3	△ 18.8	25.0
	外材製材品	△ 12.5	△ 12.5	6.3
	その他	△ 16.7	△ 16.7	0.0
販売動向	国産材製材品	△ 25.0	△ 21.4	7.1
	外材製材品	△ 31.3	△ 18.8	6.3
	その他	△ 16.7	△ 25.0	0.0
在庫動向	国産材製材品	6.3	6.3	12.5
	外材製材品	6.3	6.3	6.3
	その他	0.0	0.0	8.3

・製品市場の入荷は、国産材、外材及びその他材共に7月、8月の減少が、9月はその他材が横ばいであるが、国産材及び外材は増加。

・製品市場の販売は、国産材、外材及びその他材共に7月、8月の減少が、9月はその他材が横ばいであるが、国産材及び外材はやや増加。

・製品市場の在庫は、国産材、外材は3ヵ月連続してやや増加。その他材は7月、8月の横ばいが、9月はやや増加。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	12.5
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	25.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	△ 7.1	0.0
	母屋角	0.0	△ 7.1	0.0
	タルキ	0.0	△ 7.1	7.1
	間柱	0.0	△ 7.1	14.3
	加工板	0.0	△ 8.3	0.0
	ヌキ	0.0	△ 14.3	7.1
	平割	0.0	△ 14.3	7.1
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	7.1	7.1	14.3
	柱角 KD12×3	7.1	7.1	14.3
	土台角 10.5×4	7.1	7.1	14.3
	土台角 12×4	7.1	7.1	14.3
	通し柱 12×6	0.0	0.0	8.3
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	△ 14.3	△ 14.3	△ 7.1	
米マツ割物	△ 25.0	△ 25.0	△ 16.7	
北洋エゾマツタルキ	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7	
北洋アカマツタルキ	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0	

・スギ製材品の価格は、7月の横ばいが、8月は柱角及び通し柱は横ばいそれ以外はやや弱含み、9月はやや強含みないし横ばい。

・ヒノキ製材品の価格は、柱角及び土台角はやや強含みで推移。通し柱は3ヵ月連続して横ばい。

・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。
・米マツ平角及び割物は弱含みで推移。

・北洋エゾマツタルキ及びアカマツタルキは弱含みで推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・入荷順調。WW間柱入荷して来た。国産材、外材共に動き悪い。在庫は、スギやや増加、WW、アカマツはやや増加(関東)。
- ・入荷は、国産材、外材共に抑えている状況。販売動向良くない、東海三県、静岡低調。夏場の在庫は極力減らす傾向ある(中部)。
- ・素材減により入荷減少傾向。入荷減少も販売単価に変化みられず。品薄材も見られる(中部)。
- ・熊本地震の影響で4、5月は20%以上入荷量が落ち込んだが、6月度は15%減に回復した。6月後半から販売量が減少、特に国産材が低調(関西)。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 58,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材2等) 30,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 58,000円/m³、スギ加工板 (東北グリーン材) 東2,600円、(KD) 東3,800円、スギヌキ (東北) 40,000円/m³、(秋田材) 50,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000円/m³、ヒノキ柱角 (KD)・土台角10.5cm、12.5 80,000円/m³、ヒノキ土台角10.5cm、12.0cm 80,000円/m³、米マツ平角 KD65,000円/m³、米マツ割物AD 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (アSEMBル単価) (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³、(バンドル単価) (S) 65,000円/m³、(P) 55,000円/m³(関東：売る先により単価変動)。
- ・スギ材へのWWからの仕様変更の話も聞かれたが、円高基調及び為替が不安定のため、仕入れ、販売共に様子見が強い。ヒノキは、実需(市場渡し)が悪く、現状維持を保つのが精一杯。プレカットは忙しいらしいが、市場にまでは影響が及んでいない。米マツは全般的に下落基調。北洋エゾマツタルキ、アカマツタルキは、需要少ないが、価格は現状維持(中部)。
- ・スギ変化なし。ヒノキ柱・土台10.5cm角は、若干品薄感あるも相場は変わらず(中部)。